



天皇・皇后両陛下
御結婚六十年記念

特別号

いのち
生命の言葉

平成三十一年己亥歳
卯月四月

いにしへの 人も守り來し
日の本の 森の榮えを

共に願はむ

今上陛下

— 今上陛下御製 平成三年歌会始お題「森」

いつの日か 森とはなりて

陵を 守らむ木木か

この武藏野に

みささぎ

皇后陛下

— 皇后陛下御歌 平成三年歌会始お題「森」

奉 祝

天皇・皇后両陛下御結婚六十年

神社は心のふるさと

未来に受け継ごう 「美しい国ぶり」

今上陛下

第一百一十五代天皇

昭和八年
謹啓

十一月二十三日

継宮(つぐみやう)

【お品】

即位礼

平成二年十一月十二日

104

全國植樹祭典

「植樹祭」
全國植樹祭は、戦後過度の森林伐採により荒廃した国土の復興をめざして、昭和天皇・香淳皇后ご臨席のもと、昭和二十五年に山梨県で開催されて以来、毎年全国各地で開催されてきました。

天皇皇后両陛下はよりお手柑茶などを通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的にした、国土緑化運動の中核をなす行事であり、両陛下の三大行幸啓のひとつとなつてい

※三大行幸啓：「全国植樹祭」「全國豊かな海づくり大会」「国民体育大会」

奉祝 両陛下ご結婚六十年

「御代替わりと伝統精神」 東京都神社庁 府長 小野 貴嗣

天皇陛下は今春ご譲位なされる。御代替わりという莊厳な一大儀式を経ることによつて、天皇陛下のご存在とご即位の重大さが認識される。だからこそ、その諸儀式が古来の伝統を踏襲し、古式ゆかしく斎行されなければならない。

「陛下が大変である」と忖度して省庁が諸儀の内容の改変を検討したといふが、国の根幹をなす重大な儀式を変更してはいけないのである。

まだまだ占領政策の影響がぬぐいきれない現代人の感覚や尺度で物事を図ると、必ず大事なことが抜け落ち

てしまつ。まさに「昔の手振り忘る
なよゆめ」である。

私たちは百二十五代にわたる大御
心とお導きに敬意を表し、今上陛下
の慈しみに対しても感謝の真を捧げ
たい。そして、その御代を受け継が
れる皇太子殿下同妃殿下を敬慕の真
心でお迎えしたい。

陛下は常に国の平安と弥栄を願い
皇祖に畏敬の祈りを捧げられている。
我々国民はそのお姿を手本として、
家族が共に思い遣り援け合い、また
祖先の恩に感謝して、家族の幸福を
築いていかなければならぬ。

天皇陛下から皇后陛下へ
「結婚五十年に当たって贈る
とすれば感謝状です。皇后は
この度も『努力賞がいい』と
しきりに言うのですが、これ
は今日まで続けてきた努力を
嘉しての感謝状です。本当に
五十年間よく努力を続けてく
れました。その間にはたくさん
の悲しいことや辛いことが
あつたと思いますが、よく耐
えてくれたと思います。」

〔前略〕私はやはり感謝状を、
何かこれだけでは足りないよ
うな気持がいたしますが、心
を込めて感謝状をお贈り申し
上げます。(中略)嫁いで一々
二年のころ、散策にお誘いい
ただきました。赤坂のお庭は
くもの巣が多く、陛下は道々
くもの巣を払うための、確かに
寒竹だったか、葉のついた細
い竹を二本切つておいでにな
ると、その二本を並べてお比
べになり、一方の丈を少し短
く切つて、渡してくださいま
した。ご自分よりも軽く、
少しでも持ちやすいようにと
思つてくださいたのでしよう。

「天皇という立場にあることは、孤独とも思えるものですが、私は結婚により、私が大切にしたいと思うものを共に大切に思ってくれる伴侶を得ました。皇后が常に私の立場を尊重しつつ寄り添ってくれたことに安らぎを覚え、これまで天皇の役割を果たそうと努力できることを幸せだつたと思つています。」(平成二十五年 天皇陛下お誕生日会見)

今でもそのときのことを思い出すと、胸が温かくなります。（平成二十一年結婚五十年に際しての記者会見）

